



公立大学法人富山県立大学
News Release

「くすりのシリコンバレーTOYAMA」事務室

【本発表に関すること】

担当：松田 電話：0766-56-7500（内線）1310

【本会議に関すること】

担当：工学部生物工学科 教授 浅野泰久

電話：0766-56-7500（内線）1515

令和元年 9 月 9 日

「第 1 回日本・ドイツ・スイスバイオテクノロジー会議」の開催
および「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム
特別セッションの実施について

この度、富山県立大学 生物・医薬品工学研究センター所長 浅野泰久教授が議長を務める「第 1 回日本・ドイツ・スイスバイオテクノロジー会議」(1st Japan-Germany-Switzerland Workshop for Enzyme Technology and Bioprocess Development) が 9 月 10 日から 12 日の 3 日間開催されます。

本ワークショップは、これまでも、当該分野において長い間日本と交流を続けてきたドイツおよびスイスと 3 か国での結びつきをさらに強化し、国際的な枠組みにおけるバイオテクノロジーの発展に貢献するものです。

さらに 2 日目午後には、「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム特別セッション (TOYAMA Pharmaceutical Valley Development Consortium Special Session) を実施いたします。現在、富山県立大学では、「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムの一環として、酵素を利用した医薬品合成プロセスの研究を実施しており、同コンソーシアム事業においてトップレベル人材として招聘するルモード・シモン・マガリ教授 (トゥールーズ大学国立応用科学院 (INSA)) はじめ 5 名の国内外の講演者による講演が実施されます。

「第 1 回日本・ドイツ・スイスバイオテクノロジー会議」

1. 開催期日

2019 年 9 月 10 日 (火) ～9 月 12 日 (木)

2. 開催場所

立山国際ホテル (富山県富山市原 45)

電話：076-481-1111 ウェブサイト：<https://www.tatekoku.com/>

3. 主催団体

第 1 回日本・ドイツ・スイスバイオテクノロジー会議 組織委員会

4. 参加国

日本、ドイツ、スイス、オーストリアなど

5. 参加者

80 名程度 (国内 45 名、海外 35 名) (予定)

6. 開催内容

別紙タイムテーブル参照

詳細は会議公式ウェブサイト (<http://joint-meetings.org/index.html>) をご覧ください。

「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム特別セッション

日程： 9月11日（水）16:30~18:30

開催内容：

introduction

Yasuhisa Asano (Toyama Prefectural University, Japan)

1. Designing biocatalysts for biopharmaceuticals & healthcare products

Magali Remaud-Simeon (Toulouse Biotechnology Institute / INSA, France)

2. Health promoting functional fatty acids generated by intestinal bacteria

Shigenobu Kishino (Kyoto University, Japan)

3. Construction of plasmid-free bacterial strains for the synthesis of human milk oligosaccharides

Georg A. Sprenger (University of Stuttgart, Germany)

4. Harnessing nature – biocatalysis for development and drug discovery

Rebecca Buller (Zurich University of Applied Sciences, Switzerland)

5. Protein engineering of actinomycete CYP105A1 to produce active forms of vitamin D

Toshiyuki Sakaki (Toyama Prefectural University, Japan)

<本会議を富山県で開催する意義>

近年、富山県では、酵素工学国際会議や Active Enzyme Molecule2014、国際コファクター会議など、バイオテクノロジーに関する国際会議を相次いで実施しており、国際的な研究拠点としての地位を築きつつあります。また、富山県とスイス・バーゼルとは、医薬品研究開発において定期的シンポジウムを開催するなど交流が盛んです。このため、本ワークショップにおいても3か国の研究者が3日間集中的に議論することにより、バイオテクノロジー分野の発展と国際的な枠組みによるイノベーションのきっかけとなることが期待されます。

さらに、富山県では、「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム事業を実施しており、本会議を通して、ドイツ、スイスをはじめとする海外の研究者、企業に対するプレゼンスを高める機会として大きな意義があります。

別紙 タイムテーブル

	9/10	9/11	9/12
9:00		Keynote 2 (Germany) Harald Gröger	Keynote 3 (Switzerland) Ernesto Simon
		Oral Session 3 Bioprocess Development for Fine Chemical and Biofuel Production 2	Special Session
10:00		Coffee Break	Oral Session 6 Synthesis Pharmaceutical Intermediates
			Coffee Break
11:00		Oral Session 4 Protein engineering and In-silico design	Oral Session 7 Bioprocess Development for Fine Chemical and Biofuel Production 3
12:00			closing
	opening	Lunch	
13:00	Plenary Lecture		
	Keynote 1 (30 mins) Jun Ogawa	Oral Session 5 Screening for enzymes and Directed evolution	
14:00	Oral Session 1 Bioprocess Development for Fine Chemical and Biofuel Production 1		
15:00	Coffee Break	Coffee Break	
	Coffee Break	Poster Session	
16:00	Oral Session 2 Enzyme Technology	Special Session	
17:00			
18:00			
19:00	Dinner	Banquet	
20:00			